

2026年3月2日

グロービス

ニュースリリース

グロービス杯世界囲碁、3年ぶりに復活！ 応氏杯王者・一力遼氏、呉清源杯王者・上野愛咲美氏や日本囲碁棋戦タイトル保持者を多数輩出した世界囲碁大会が再始動へ

株式会社グロービス(東京都千代田区、代表取締役:堀 義人)は、公益財団法人日本棋院(理事長:武宮陽光、以下「日本棋院」)が開催する国際棋戦「第11回グロービス杯世界囲碁U-22」に協賛することをお知らせします。



グロービス杯は、日本で開催される男女参加の唯一の世界棋戦であり、若手棋士を対象とした国際大会として2014年に創設されました。次代を担う棋士たちが世界を舞台に競い合い、国際交流を深める貴重な機会として開催されてきました。これまで本大会からは、世界トップレベルで活躍する棋士も多数輩出されています。

新型コロナウイルス感染症の影響により本大会は一時休止してましたが、国際交流環境の回復を受け、第10回大会の開催から3年ぶりに「第11回グロービス杯世界囲碁U-22」として再開されます。本大会の初代チャンピオンは一力遼氏であり、その後、同氏は応氏杯世界囲碁選手権で優勝するなど、日本囲碁界を代表する棋士へと成長を遂げました。現在の日本囲碁界における主要タイトル保持者や世界の舞台で活躍する日本の女流棋士もグロービス杯出場経験者です。

今回の協賛にあたって、グロービス代表 堀義人は、以下のように話しています。

「グロービス杯は、日本の若手棋士が世界で勝てるようにする目的で2014年に創設されました。グロービス杯を10回連続で開催したのちにコロナ禍で中断したものの、初代チャンピオンの一力遼棋士が、世界最高峰棋戦の応氏杯(オリンピックと同様に4年に1回のみ開催)で優勝したことをきっかけに、再開することにしました。既に女流の上野愛咲美棋士も、世界棋戦で優勝するに至っています。また、各棋戦タイトルもグロービス杯参加棋士によって独占されています。これからグロービス杯が、日本の若手棋士の育成に寄与して、世界で常に勝ち続ける状態になることを期待します」



右から日本囲碁界を牽引する一力遼氏、グロービス代表 堀義人

グロービスの本大会への協賛は、若き才能が世界に挑戦し、切磋琢磨する機会を支援する取り組みの一環です。囲碁という知の競技を通じて、国境を越えた交流と成長の場の創出に貢献してまいります。

■開催概要

・大会名称

第11回グロービス杯世界囲碁U-22

(英語表記: 11th GLOBIS Cup World Go Championship 2026)

※ 略称: 「グロービス杯」「GLOBIS Cup」

・主催

公益財団法人日本棋院

・協賛

株式会社グロービス

・開催地

日本棋院東京本院 ほか

・開催期間

本戦: 2026年6月

■出場資格・出場者数

・本戦参加資格

2026年1月1日時点で22歳未満の棋士またはアマチュア

・本戦出場者数

16名

日本: 6名 (予選通過者を含む)

中国: 3名

韓国: 3名

中華台北: 1名

欧州: 1名

北米: 1名

アジア・オセアニア: 1名

※ 海外棋士の選抜は、各国・地域の代表団体に一任します。

■対局規定

日本ルール、全互先、先番6目半コミ出し。

持ち時間なし、一手30秒、途中1分単位の考慮時間10回 (NHK杯方式)。

本戦は4名1組のグループリーグ (ダブルエリミネーション方式) を戦い、各組2勝者が勝ち抜け。決勝トーナメント (8名) はノックアウト方式で実施します。

■大会の意義

グロービス杯世界囲碁U-22は、若手棋士に国際舞台での真剣勝負の場を提供し、競技力の向上と国際的視野の涵養を目的とした棋戦です。本大会を通じて、世界の若手棋士同士の交流を促進するとともに、囲碁文化の国際的発展に寄与してまいります。

◆グロービス (<https://globis.co.jp>)

グロービスは1992年の設立以来、「経営に関するヒト・カネ・チエの生態系を創り、社会の創造と変革を行う」ことをビジョンに掲げ、各種事業を展開してまいりました。「ヒト」の面では、グロービス経営大学院に加え、スクール型研修や集合研修など法人向け人材育成サービスを展開するグロービス・コーポレート・エデュケーション、eラーニングや定額制動画学習サービス「GLOBIS 学び放題」などを提供するグロービス・デジタル・プラットフォームにより、リーダーの育成を推進しています。「カネ」の面では、ベンチャー企業への投資・育成を行うベンチャー・キャピタル「グロービス・キャピタル・パートナーズ」を運営、「チエ」の面では、出版事業ならびにオウンド

メディア「GLOBIS 学び放題×知見録」を通じて知の発信を行っています。さらに社会における創造と変革を促進するため、一般社団法人G1によるカンファレンス運営、一般財団法人KIBOW による震災復興支援および社会的インパクト投資などの活動を展開しています。

グロービス:

学校法人 グロービス経営大学院

・日本語(東京、大阪、名古屋、福岡、オンライン)／英語(東京、オンライン)

株式会社 グロービス

・グロービス・エグゼクティブ・スクール

・グロービス・マネジメント・スクール

・企業研修

・出版／電子出版

・「GLOBIS 学び放題×知見録」／「GLOBIS Insights」

・「GLOBIS 学び放題」／「GLOBIS Unlimited」

グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社

顧彼思(上海)企業管理諮詢有限公司

GLOBIS Asia Pacific Pte. Ltd.

GLOBIS Asia Campus Pte. Ltd.

GLOBIS Thailand Co., Ltd.

GLOBIS USA, Inc.

GLOBIS Europe BV

GLOBIS Manila Inc.

PT. GLOBIS INDONESIA HUB

その他の活動:

・一般社団法人G1

・一般財団法人KIBOW

・株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント

・株式会社LuckyFM茨城放送

【取材に関するお問い合わせ先】

グロービス 広報室 担当:土橋涼

E-MAIL: pr-info@globis.com